

しろやま



病院理念

城山病院は患者さまのために存在します

2025年5月号

医療法人春秋会 城山病院

大阪府羽曳野市はびきの2-8-1

TEL 072-958-1000

編集・発行 情報システム課

Vol. 95



SPECIAL

2025年度の病院目標



院長

石橋 孝嗣 医師

城山病院は大阪府から地域医療支援病院、がん診療拠点病院に認定されています。また、羽曳野市災害医療センターにも指定されており、急性期病院だけでなく多くの責務を担っています。今年度の病院目標を石橋院長に話を聞きました。

マグネットホスピタル

今年度の目標テーマは「マグネットホスピタル」です。「マグネットホスピタル」とは患者様や医療スタッフを磁石のように引きつけて放さない魅力ある病院のことを言います。

すなわち、患者様からは「この病院にかかってよかった」、医療スタッフからは「これからもこの病院で働き続けたい」、地域の医療・介護従事者からは「城山病院と連携してよかった」、と喜んでくれる病院を目指します。

次に今年度の5つの目標について話します。

急性期病院および地域医療支援病院として

(1) 病病・病診・医介連携の推進と充実

他院や開業医からの紹介された患者様の受け入れ(前方支援)と、退院や他施設へのスムーズな転院(後方支援)をスムーズに行うため、他院・開業医と定期的に意見交換し、改善すべき点を改善します。

(2) 救急医療体制の強化

毎月の救急車受入台数や救急外来からの入院患者数目標値を設定し、達成に向けて協働します。

(3) 高度・専門的医療の体制強化

二次救急病院として救急隊からの脳卒中コール(専門医直通電話)やハートコール(急性心筋梗塞や心不全等の救急疾患における専門医直通電話)の体制を強化します。

また、ロボット支援下手術(整形外科、消化器外科、泌尿器科)やカテーテルを応用した低侵襲治療(循環器科や脳血管治療科)をさらに推進します。

(4) 大阪府がん診療拠点病院としての役割遂行

(5) 羽曳野市災害医療センターとしての役割遂行

災害時の基幹病院として中等症患者様の受け入れ、他院へ搬送する場合の最低限必要な措置の実施、医療班の派遣などを的確に行うため市役所、保健所、消防署、医師会などとの協働体制を強化し、災害対策訓練を継続して行います。

(6) 病気予防と早期発見のための検診部門の整備と新事業展開

安心・安全で質の高い医療の充実

(1) 接遇および「説明と同意」の充実

接遇とは丁寧に接するだけでなく、患者様の視点に立って物事を考える姿勢のこと。そのために「利他の心」をもって接遇力を向上させ、また患者様の価値観を尊重したSDM(共同意思決定)の周知・活用を進める努力をします。

(2) インシデント・アクシデントレポートに対する科学的評価を行い、医療安全文化も醸成

(3) 医療の質の評価(QI)による定量的評価と質の向上

働き方改革の推進

(1) 働きやすく、働きがいのある職場を目指す

勤務環境改善や勤務時間を管理し、ストレス、ハラスメントへの取り組みを強化します。

(2) 人が育つ組織作り

職員教育プログラムを充実強化し、障害者雇用も推進します。

経営基盤の維持・強化

国内の一般病院の多くは物価や人件費の上昇で経営が難しい状況です。当院は厳しい状況は脱しており、今後も各項目に具体的数値目標を立て、達成に向けて各部署が協働していきます。

SDGsへの取り組み

情報管理のペーパーレス化、地域の患者様に密着した質の高い医療を提供するための教育、障害者の積極的な雇用を進めます。

以上の目標達成へ向かって「城山病院は患者さまのために存在します」の病院理念のもと、今年度も当院は地域医療に貢献いたします。

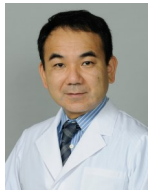
2025年4月入職 外来担当紹介

2025年4月 脳神経外科1名、消化器外科1名、整形外科1名、形成外科1名、泌尿器科1名、リハビリテーション科2名、研修医2名が新たに着任いたしました。

※下記の外来担当については、2025年4月1日の情報になります。詳しくは城山病院ホームページをご覧ください。

また、表には今回入職された医師のみ記載させて頂いておりますのでお気を付けください。

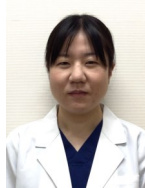
脳・脊髄・神経センター



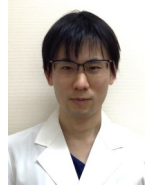
脳神経外科
顧問
梶本 宣永

	午前	午後
月	-	-
火	-	-
水	(水頭症外来) 梶本	(水頭症外来) 梶本
木	-	-
金	-	-

リハビリテーション科



リハビリテーション科
医長
小倉 沙耶香



リハビリテーション科
長田 尚樹



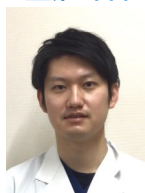
消化器・乳腺センター



消化器外科
小宮 敦宏

	午前	午後
月	-	-
火	-	-
水	小宮	-
木	-	-
金	-	-

整形外科



整形外科
吉良 貞則

	午前	午後
月	-	-
火	-	-
水	吉良	-
木	-	-
金	吉良	-

形成外科



形成外科
岡本 夏樹

	午前	午後
月	岡本	-
火	岡本	-
水	-	-
木	岡本	-
金	-	-

泌尿器科



泌尿器科
足立 秀幸

	午前	午後
月	足立	-
火	-	-
水	-	-
木	足立	-
金	-	-

研修医



研修医
眞寄 茉莉



研修医
廣谷美咲



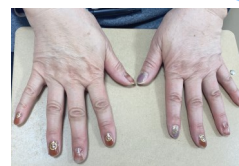
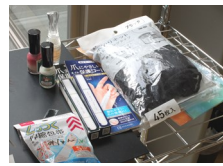
4月1日より、総勢62名が入職しました。
これからのご活躍にご期待ください。

がんサロン「白鳥の会」を開催しました

3月25日にがんサロン「白鳥の会」を開催しました。参加者は1名でしたが、熱心に講演を聞かれ、質問を交えながら、笑顔あふれるがんサロンとなりました。参加者の方から、「私が抗がん剤治療をしていた時は、このような相談場所もなかったし、ウィッグも何十万もするやつを買って…今は随分変わりましたね」と感心されていました。ネイルシールを楽しんでもらいました。

市町村によっては、ウィッグの補助金なども手続きをすればもらえるようになり、またオシャレなウィッグも増えて、来院のたびに違うウィッグをつけて楽しんでいる方もいらっしゃいます。

がん相談支援センターでは、外見の変化での悩み、社会的な問題や医療者とのコミュニケーションなど、様々な相談に対応しています。



ネイルシールを
体験して頂きました

院内研究発表会を行いました

これまで看護部のみで研究発表会を行ってききましたが、各部署での取り組みや成果を知ることで、多職種の連携強化や自院の医療の質の見える化に繋がると考え、新たな取り組みとして多職種が参加する「院内研究発表会」を開催しました。すでに学会発表された研究や、今後の学会発表に向けて取り組んでいる研究、看護部で3年目の看護師を対象に行っている看護研究など全19演題が登録され、演題は3部門に分けて構成し、発表を行いました。

緊張しながら発表している人もいましたが、1年以上かけて取り組んだ内容もあり、とても学びの多い研究発表会になったと感じています。この研究会が病院の活性化とともに、事象や理論に基づいた医療実践に繋がれることを期待しています。

